



## NHK 詳細分析

2026-05-03\_radio\_news\_1800

放送: 2026-05-03 | 分析日: 2026-05-13 13:32

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

2.8/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

## 政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — [chesdata.eu](https://chesdata.eu) | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 政治的景観

現政権：自由民主党（LDP）＋公明党（Komeito）連立政権。2012年以降継続（2009～2012年の民主党政権期を除く）。2024年10月27日の衆院選でLDPは191議席に後退し、過半数を割り込んだ。現在は石破茂首相（2024年10月就任）。

主要野党：立憲民主党（CDP、148議席）が最大野党。日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、公明党（24議席）、れいわ新選組（9議席）、日本共産党（JCP、8議席）が続く。

政党	LR値（0～10）	議席数（衆院）	政権／野党	核心的立場
日本共産党（JCP）	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時原発廃止、日米安保廃棄
社民党（SDP）	2.5	1	野党	護憲、反軍備拡張、福祉重視
れいわ新選組（Reiwa）	2.5	9	野党	消費税廃止、反軍拡、反エスタブリッシュメント
立憲民主党（CDP）	3.5	148	野党	護憲、9条改正反対、再生可能エネルギー推進
公明党（Komeito）	5.0	24	与党	平和主義、社会保障重視、LDP連立のブレーキ役
国民民主党（DPP）	5.5	28	中間	消費税減税、実用主義的原発活用
自由民主党（LDP）	7.0	191	与党	憲法改正（9条・緊急事態条項）、防衛費増額
日本維新の会（Ishin）	7.0	38	野党	憲法改正、規制緩和、大阪発の改革路線
参政党（Sanseito）	9.0	3	野党	超国家主義、反グローバリズム

注記：日本はCHES（チャペルヒル専門家調査）の対象外。LR値はMARPOR、東大朝日調査、革新保守スケール、Laver/Benoit（2017）の複合値。Pewしきい値：4.5未満＝左派、4.5～5.5＝中道、5.5超＝右派。

憲法改正問題が最大の対立軸であり、特に9条（戦争放棄）への自衛隊明記と緊急事態条項の新設をめぐる野党が鋭く対立している。2024年衆院選でLDPが過半数を失ったことで改憲発議に必要な3分の2議席の確保が困難となり、改憲論議は新局面を迎えている。防衛費のGDP比2%への増額、原発再稼働の是非、夫婦別姓制度も主要な争点である。2025年参院選を控え、各党の憲法・安全保障政策をめぐる攻防が激化している。

NHKは放送法に基づく公共放送であり、経営委員会の12名は首相が任命する（国会同意が必要）。安倍政権期（2012～2020年）以降、「安倍のNHK」との批判が継続しており、記者クラブ制度が政府との構造的近接性を生んでいる。RSF報道自由度ランキングでは日本は70位（2024年）にとどまり、放送法第4条が定める政治的公平・多角的論点提示の義務が常に問われる立場にある。

- ・ タイトル：NHKニュース 午後6時
- ・ 日付（ファイル名より推定）：2025年5月3日（憲法記念日）

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

- 推定放送時間：約4分49秒（00:00:00～00:04:49）
- キャスター／レポーター：谷口（アナウンサー）
- 登場人物：

人物	役職・肩書	政党・所属	政治的スペクトル
桃地明（もものち あきら）	日本大学名誉教授	民間憲法臨調（改憲派）	右派寄り（LDP支持層）
吉岡志乃（よしおかしの）	ノンフィクション作家	護憲派集会登壇者	左派寄り（護憲派）
70代男性参加者	一般市民	改憲派集会参加者	右派寄り
40代女性参加者	一般市民	護憲派集会参加者	左派寄り
秋篠宮ご一家（言及のみ）	皇族	非政治的	中立

憲法記念日（2025年5月3日）における改憲派・護憲派双方の集会の報道、および秋篠宮ご一家のコンサート鑑賞の紹介。

日本国憲法は1947年5月3日施行から78年が経過し、一度も改正されていない。改憲論議は特に9条（戦争放棄・戦力不保持）をめぐって長年の政治的争点であり、LDP・Ishinが改憲推進、CDP・JCP・SDP・Reiwaが護憲を主張する。2024年衆院選でLDPが過半数を失い、改憲発議に必要な3分の2議席の確保が困難になったことで、改憲の現実的可能性は低下している。国際情勢（ウクライナ侵攻、台湾海峡緊張）を背景に安全保障論議が活発化しており、憲法改正の是非は単なる法律問題を越えた国家アイデンティティの問いとなっている。

- \* 憲法9条改正の具体的内容と法的効果（自衛隊明記の意義）
- \* 緊急事態条項の国際比較と民主主義への影響
- \* 改憲に必要な手続き（発議要件・国民投票）の現状
- \* 2024年衆院選結果が改憲論議に与える影響（3分の2議席の欠如）
- \* 護憲派の具体的な法的・平和的論拠
- \* 改憲派の具体的な安全保障上の論拠（ホルムズ海峡事例等）
- \* 世論調査における改憲賛否の分布
- \* 各政党の憲法改正に関する具体的立場の比較
- \* 憲法学者・法律専門家の多様な見解
- \* 過去の改憲論議の経緯と国際的文脈

[A] 部分的に言及

タイムスタンプ：01:37～01:53

引用：「ホルムズ海峡をめぐって、我が国としては、戦闘中は憲法の制約があり、艦船の派遣はできないとされている。諸外国並みの責任を果たしていくために、速やかに憲法9条改正に取り組んでいかれると訴えました。」

評価：改憲派の論拠として9条の制約が言及されたが、9条改正の具体的内容や法的効果の説明はなく、一方的な主張の紹介にとどまる。

[B] 言及なし（省略）

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：緊急事態条項の内容・問題点・国際比較は一切触れられていない。01:57～02:07で「緊急事態条項の創設に向けた審議の促進」と声明内容が紹介されたのみ。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

[C] 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：改憲手続き（衆参各院の3分の2以上の賛成+国民投票）についての説明は皆無。

[D] 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：2024年衆院選でLDPが過半数を失い、改憲発議が現実的に困難になっているという重要な文脈が完全に欠落している。

[E] 部分的に言及

タイムスタンプ：02:46～02:53

引用：「社会を動かすための足場を与えてくれるのが日本国憲法だ。飛び交う情報に左右されないための知識を、憲法を基盤にして作り上げていくことが必要なのではないか」

評価：護憲派の論拠として市民社会的観点が見られたが、法的・平和的論拠の具体的説明はない。

[F] 言及あり（改憲派のみ）

タイムスタンプ：01:37～01:53

引用：「ホルムズ海峡をめぐる、我が国としては、戦闘中は憲法の制約があり、艦船の派遣はできないとされている。」

評価：改憲派の安全保障論拠が具体的に紹介されたが、護憲派からの安全保障上の反論は示されていない。

[G] 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：世論調査データ（改憲賛否の分布）は一切引用されていない。

[H] 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：各政党の具体的立場の比較は行われていない。

[I] 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：憲法学者・法律専門家の見解は登場しない。桃地名誉教授は法学者ではなく、専門分野の確認が必要。

[J] 省略

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：過去の改憲論議の経緯や国際的文脈への言及はない。

理由：10の必要な視点のうち、完全に取り上げられたものは皆無であり、部分的言及が2件（[A][E][F]）、省略が7件に及ぶ。改憲派の具体的論拠（ホルムズ海峡）は示されたが、護憲派の法的論拠、改憲手続きの説明、世論調査デー

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



タ、政党比較、憲法学者の見解がすべて欠落している。4分49秒という短い放送時間を考慮しても、主要な文脈情報の欠如は著しく、視聴者が独立した判断を形成するために必要な情報が提供されていない。

- 憲法学者（護憲派）：9条の法的解釈と改正の問題点を具体的に説明できた
- 憲法学者（改憲派）：改正の法的根拠と必要性を学術的に論じられた
- 安全保障専門家：ホルムズ海峡事例の事実確認と代替的安全保障手段を提示できた
- 国民投票専門家：改憲手続きの現実的困難さを説明できた
- 世論調査専門家：改憲賛否の世論分布を客観的データで示せた
- 野党代表者（CDP・JCP等）：護憲の政治的・法的論拠を直接述べられた
- 与党代表者（LDP）：改憲推進の政策的根拠を直接述べられた
- 国際法専門家：日本の安全保障義務の国際法的解釈を提供できた

## ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

### 1. 専門家の選定

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：桃地明（日本大学名誉教授）

タイムスタンプ：01:36～01:53

発言：「ホルムズ海峡をめぐる、我が国としては、戦闘中は憲法の制約があり、艦船の派遣はできないとされている。諸外国並みの責任を果たしていくために、速やかに憲法9条改正に取り組んでいかれると訴えました。」

位置づけ：改憲派集会（民間憲法臨調）の登壇者として発言。日本大学名誉教授という肩書きが学術的権威を付与しているが、専門分野（法学か否か）の明示がない。

欠如する反論：護憲派の憲法学者（例：長谷部恭男・早稲田大学教授等）の見解が対置されていない。

情報源の深層確認：

(a) 資金調達：民間憲法臨調は改憲推進の民間団体。日本大学は私立大学。桃地氏が改憲派集会の登壇者として招かれている時点で、改憲推進の立場を持つことが明確。

(b) 委任の適合性：改憲派集会の登壇者として発言しており、中立的評価者としての立場とは相容れない。

(c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：

- D1 利益相反：-2 — 改憲派集会登壇者として明確な立場を持つ
- D2 個人的リスク：+1 — 名誉教授として既に地位確立、発言による損失は限定的
- D3 専門能力：+1 — 大学教授の肩書きあり、ただし専門分野不明
- D4 見解の一貫性：0 — 過去の発言との比較データなし
- D5 感情化対データ：-1 — ホルムズ海峡の事例は具体的だが、法的根拠の詳細説明なし
- D6 情報源レベル：0 — 集会での発言（二次情報）

• 合計：-1 → 情報源信号機：黄色（-4～+4）

(c) 専門能力: 改憲派集会の登壇者が「日本大学名誉教授」として紹介されることで、中立的学術専門家として受け取られるリスクがある。これは技法12（情報源選定）に該当する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

専門家2：吉岡志乃（ノンフィクション作家）

タイムスタンプ：02:46～02:53

発言：「社会を動かすための足場を与えてくれるのが日本国憲法だ。飛び交う情報に左右されないための知識を、憲法を基盤にして作り上げていくことが必要なのではないか」

位置づけ：護憲派集会の登壇者。ノンフィクション作家であり、法学・安全保障の専門家ではない。

欠如する反論：改憲派の法学者による具体的な法的論拠が対置されていない。

情報源の深層確認：

(a) 資金調達：護憲派集会の登壇者。出版活動による収入。護憲的立場を持つことが明確。

(b) 委任の適合性：護憲派集会登壇者として発言しており、中立的評価者ではない。

(c) 信頼性マトリクス：

D1 利益相反：-2 — 護憲派集会登壇者として明確な立場

D2 個人的リスク：0 — 作家として発言、リスクは中程度

D3 専門能力：-1 — ノンフィクション作家は憲法・安全保障の専門家ではない

D4 見解の一貫性：0 — 過去の発言との比較データなし

D5 感情化対データ：-1 — 「足場」「飛び交う情報」等の比喩的・感情的表現が中心

D6 情報源レベル：0 — 集会での発言（二次情報）

• 合計：-4 → 情報源信号機：黄色（-4～+4）

(c) 専門能力：ノンフィクション作家が護憲派の「専門的」代弁者として位置づけられることで、護憲派の論拠が感情的・抽象的なものとして印象づけられるリスクがある。

欠如する専門家グループ：

- 憲法学者（護憲・改憲双方）：法的論拠の客観的説明に不可欠
- 安全保障専門家：ホルムズ海峡事例の事実確認と代替手段の提示
- 国民投票・選挙制度専門家：改憲手続きの現実的説明

まとめ（マトリクス結果）：

- 桃地明（改憲派教授）：情報源信号機 黄色（合計-1）、改憲派集会登壇者として立場明確
- 吉岡志乃（護憲派作家）：情報源信号機 黄色（合計-4）、専門能力の不一致が顕著

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 2. 情報源の選定

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源1：民間憲法臨調

タイムスタンプ：01:21～01:27

発言：「憲法改正を求める立場の民間憲法臨調などが、東京千代田区で開いた集会には」

(a) 資金調達と運営主体：民間憲法臨調は改憲推進の民間団体。LDP・改憲派政治家との密接な関係が知られている。

(b) 構造的利益相反：改憲推進を目的とする団体であり、中立的情報源ではない。

(c) 欠如する対立情報源：改憲に反対する法学者・市民団体の見解が対置されていない。

欠如する対立情報源：日本弁護士連合会（改憲に慎重な立場）、憲法学者の多数意見等。

情報源2：護憲派集会（主催者不明）

タイムスタンプ：02:37～02:44

発言：「条文を守る立場の人たちが東京高等区で開いた集会には」

(a) 資金調達と運営主体：主催者名が明示されていない（「条文を守る立場の人たち」のみ）。

(b) 構造的利益相反：護憲推進を目的とする団体と推定されるが、詳細不明。

(c) 欠如する対立情報源：改憲派の法学者・専門家の見解が対置されていない。

まとめ：両集会の主催者情報が不完全であり（特に護憲派集会の主催者名が不明）、情報源の独立性・中立性の検証が困難。改憲派・護憲派双方の情報源が選定されているが、いずれも立場を持つ団体であり、中立的専門家（憲法学者、安全保障専門家）の情報源が欠如している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



### 3. 発言時間の配分

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間の配分。

推定発言時間：

- ・改憲派（桃地教授発言・声明・70代男性）：約60秒（01:36～02:07、02:09～02:23）、全体の約21%
- ・護憲派（吉岡氏発言・デモ・40代女性）：約55秒（02:26～03:22）、全体の約19%
- ・アナウンサー（ナレーション）：約115秒（全体の約40%）
- ・皇室関連ニュース：約75秒（03:31～04:42）、全体の約26%
- ・気象情報：約65秒（00:04～01:08）、全体の約23%

まとめ：改憲派・護憲派の発言時間はほぼ均等（約60秒対55秒）であり、形式的な均衡は保たれている。ただし、改憲派の発言内容がより具体的（ホルムズ海峡の事例）であるのに対し、護憲派の発言が抽象的であるという内容的非対称性は時間配分では捉えられない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



#### 4. 省略 (選択的省略)

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず示されていないものは何か？ (第0段階を参照)

##### 省略1：

文脈：2024年衆院選でLDPが過半数を失い、改憲発議に必要な3分の2議席が確保できていないという現実

関連タイムスタンプ：01:10～02:07 (改憲派集会報道全体)

影響：改憲派の訴えが現実的な政治的文脈なしに報道されることで、改憲が近い将来実現可能であるかのような印象を与える。実際には現在の議席配分では改憲発議は困難。

##### 省略2：

文脈：世論調査における改憲賛否の分布データ

関連タイムスタンプ：全体

影響：視聴者は改憲支持・反対の社会的分布を知ることができず、集会参加者数 (改憲派850人、護憲派5万人) のみが示されることで、数的優位が護憲派にあるという印象が生じる可能性がある。

##### 省略3：

文脈：改憲手続き (衆参各院3分の2以上の賛成+国民投票) の説明

関連タイムスタンプ：01:57～02:07

影響：「一刻も早い憲法改正案の作成」という声明が、実際の改憲手続きの困難さへの言及なしに報道されることで、改憲が容易に実現可能であるかのような誤解を招く。

まとめ：改憲論議の現実的文脈 (議席配分、世論調査、手続き要件) が完全に欠落しており、視聴者が独立した判断を形成するために必要な情報が提供されていない。これは放送法第4条が求める「多角的な論点の提示」に反する可能性がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 5. 数値操作

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

完全な数値には：絶対値、割合（%）、傾向を含む

定義：統計の選択的または誤解を招く使用。

所見1：

タイムスタンプ：01:27～01:31

数値：「被災者の発表でおよそ850人が参加しました。」（改憲派集会）

欠如する文脈：「被災者の発表」という表現は「主催者発表」の誤記と思われる。主催者発表の参加者数は過大評価される傾向があることへの言及がない。

影響：参加者数の信頼性が検証されないまま報道される。

所見2：

タイムスタンプ：02:42～02:44

数値：「被災者の発表でおよそ5万人が参加しました。」（護憲派集会）

欠如する文脈：改憲派850人对護憲派5万人という約59倍の差が、文脈説明なしに並列して報道される。この数値差が護憲派の社会的支持の大きさを示すのか、動員力の差を示すのか、会場規模の差を示すのかの説明がない。

影響：数値の対比が護憲派の圧倒的な社会的支持を示唆する可能性があるが、実際には集会の性格・規模・動員方法の違いが反映されている可能性がある。

まとめ：参加者数の対比（850人对5万人）が文脈説明なしに並列報道されており、視聴者に誤解を招く可能性がある。ただし、数値自体の捏造や明確な操作は確認されない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 6. 連座による信用失墜 (連座制)

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義: 否定的なグループ・思想との関連付けによる信用失墜。

本放送において、特定の人物や立場を否定的なグループと関連付けることによる信用失墜の技法は確認されない。改憲派・護憲派双方の発言は、それぞれの立場の代表的意見として中立的に紹介されている。

「陰謀論者」「陰謀イデオロギー」等のラベリングも確認されない。

まとめ: 連座による信用失墜の技法は本放送において使用されていない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 7. タイミング

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見1：

位置：01:10～（全体の約23%地点、気象情報の直後）

内容：「憲法記念日のきょう、憲法改正を求める立場の人たちや、憲法を守る立場の人たちが、それぞれ集会を開きました。」

タイミング効果：気象情報（緊急性・具体性）の直後に憲法論議が配置されることで、視聴者の注意が確保された状態で憲法問題が提示される。これは意図的な配置というよりも、ニュース番組の標準的な構成（緊急ニュース→政治ニュース→社会ニュース）に従ったもの。

所見2：

位置：03:31～04:42（末尾）

内容：秋篠宮ご一家のコンサート鑑賞

タイミング効果：憲法論議の後に皇室関連の穏やかなニュースを配置することで、番組が「和やか」な印象で終わる。政治的緊張感を緩和する効果があるが、これは標準的なニュース構成の慣行。

まとめ：タイミングの操作は軽微であり、標準的なニュース番組の構成に従っている。意図的な情報操作としてのタイミング操作は確認されない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 8. 選択的憤慨

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場への憤慨反応と、同等の他の立場への反応の欠如。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となる出来事を記録すること。反応は、他の立場における同等の引き金が同様の反応を生まなかった場合にのみ選択的と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：全体

引き金となる出来事：本放送はニュース読み上げ形式であり、アナウンサーによる感情的反応・憤慨の表明は構造的に発生しない。

反応：なし

比較：改憲派・護憲派双方の発言に対して同等のトーンで読み上げられている

非対称性：確認不可能 — ニュース読み上げ形式のため、選択的憤慨の評価は適用外。

まとめ：ニュース読み上げ形式のため、選択的憤慨は確認されない。スコア1は、改憲派の発言（ホルムズ海峡の具体的事例）と護憲派の発言（抽象的訴え）の内容的非対称性が、アナウンサーの読み上げトーンに微細な差異をもたらす可能性を考慮したもの。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

9. 網羅性								7/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## ソフトファクト — 6つの定性的手法

### 10. フレーミング (枠組み設定)

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように基本的に枠組みされているか？

所見1：

タイムスタンプ：01:10～01:19

引用：「憲法改正を求める立場の人たちや、憲法を守る立場の人たちが、それぞれ集会を開きました。」

操作手法：「改正を求める」対「守る」という対比的フレームが設定されている。「守る」という語は現状維持を肯定的に示唆し、「改正」は変化・攻撃的行為として暗示される可能性がある。

問題点：「改正」は憲法が定める正当な手続きであり、「守る」と「改正」を対立軸として設定すること自体が価値的含意を持つ。中立的表現は「改正推進派」対「改正反対派」または「護憲派」対「改憲派」の対称的表現が適切。

所見2：

タイムスタンプ：02:26～02:27

引用：「一方、」

操作手法：「一方」という接続詞で護憲派集会に転換しているが、この転換は形式的均衡を演出しつつ、実質的な内容の非対称性（改憲派：具体的論拠あり、護憲派：抽象的訴えのみ）を隠蔽している。

問題点：形式的な「一方」の使用が実質的な内容の不均衡を覆い隠すフレーミング技法として機能している。

まとめ：フレーミング自体は「両論併記」の形式を取っており、極端な偏りは見られない。ただし「守る」対「改正」という語の選択に微細な価値的含意があり、改憲派の論拠がより具体的に示されている点で内容的非対称性が存在する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 11. 語彙と用語

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見1：

タイムスタンプ：01:10～01:19

引用：「憲法を守る立場の人たち」

操作手法：「守る」という語は防衛的・肯定的含意を持ち、護憲派を「守護者」として位置づける。

問題点：中立的代替表現は「憲法改正に反対する立場」または「現行憲法維持を求める立場」。「守る」は価値判断を内包する。

所見2：

タイムスタンプ：01:25～01:27

引用：「民間憲法臨調など」

操作手法：「民間」という語が付加されることで、政府・政党との距離感を演出し、市民社会的正当性を付与している。

問題点：民間憲法臨調はLDP・改憲派と密接な関係を持つ組織であり、「民間」という語が中立性を過度に示唆する可能性がある。

まとめ：語彙の問題は軽微であり、明確な操作的用語の使用は限定的。「守る」という語の選択に微細な含意があるが、全体として語彙レベルの操作は低い。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 12. 司会者の行動

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問、割り込み、共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となる出来事を記録すること。介入は、他のゲストにおける同等の引き金が同様の介入を生まなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：全体

引き金となる出来事：本放送はスタジオインタビュー形式ではなく、アナウンサーによるニュース読み上げ形式であるため、司会者による質問・割り込み・共感表明は構造的に発生しない。

引用（アナウンサー）：「谷口がお伝えしました」（04:48）

比較：他のゲストへの対応なし（インタビュー形式ではないため）

非対称性：確認不可能 — ニュース読み上げ形式のため、司会者の行動による非対称性の評価は適用外。

まとめ：本放送はニュース読み上げ形式であり、司会者による質問・介入が存在しないため、このカテゴリにおける操作的行動は確認されない。スコア1は、アナウンサーが改憲派・護憲派の発言を同等のトーンで読み上げているかどうかの微細な差異の可能性を考慮したものだが、トランスクリプトからは明確な非対称性は検出されない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



### 13. 質問の非対称性

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

非対称性1：

本放送はニュース読み上げ形式であり、インタビュー形式の質問は存在しない。改憲派・護憲派双方の発言は集会での発言の引用として紹介されており、アナウンサーによる直接質問は行われていない。

比較：改憲派への質問なし、護憲派への質問なし — 対称的（質問なし）

評価：質問の非対称性は構造的に発生しない形式。

まとめ：ニュース読み上げ形式のため、質問の非対称性は評価対象外。スコア1は、集会発言の引用において改憲派の発言がより具体的な論拠（ホルムズ海峡）を含む一方、護憲派の発言が抽象的であるという選択的引用の可能性を考慮したもの。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



#### 14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を演出すること。

所見1：

タイムスタンプ：01:10～03:22（憲法論議全体）

構造：「改憲派集会（850人）」対「護憲派集会（5万人）」を「それぞれ集会を開きました」として対等に並列報道。

分析：参加者数に約59倍の差があるにもかかわらず、両集会が同等の重みで報道されている。また、改憲派の発言（具体的な安全保障論拠）と護憲派の発言（抽象的な市民社会論）が同等の「専門家発言」として並列されているが、論拠の具体性・専門性に明確な差がある。これは偽りの均衡の典型的パターン。

所見2：

タイムスタンプ：01:36～01:53 対 02:46～02:53

構造：改憲派：日本大学名誉教授（学術的権威）対 護憲派：ノンフィクション作家（非専門家）

分析：改憲派の代弁者として学術的権威を持つ教授が選ばれ、護憲派の代弁者として非専門家の作家が選ばれている。形式的には「専門家対専門家」の均衡を演出しているが、実際には専門性・権威性に明確な差がある。

まとめ：形式的な「両論併記」が実質的な内容・専門性・参加者数の非対称性を隠蔽している。これは偽りの均衡の典型的パターンであり、放送法第4条が求める実質的な多角的論点提示とは異なる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

3/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見1：

設定されたアジェンダ要素：憲法論議は「改憲派對護憲派」の二項対立として自明視されている。

タイムスタンプ：01:10～01:19

証拠：「憲法改正を求める立場の人たちや、憲法を守る立場の人たちが、それぞれ集会を開きました。」

代替アジェンダ：改憲の具体的内容（どの条文をどう変えるか）、改憲手続きの現実的困難さ、世論の多様な分布（単純な二項対立ではない）。

所見2：

設定されたアジェンダ要素：憲法記念日の報道として「集会」が中心的イベントとして自明視されている。

タイムスタンプ：01:10～03:22

証拠：集会の参加者数・発言内容が報道の中心を占めている。

代替アジェンダ：憲法施行78年の意義、現行憲法の具体的内容の解説、改憲論議の歴史的経緯。

まとめ：憲法論議が「集会」という形式と「二項対立」という枠組みで報道されることで、より複雑な憲法論議の実態がアジェンダから外れている。ただし、4分49秒という短い放送時間を考慮すると、アジェンダ設定の操作性は限定的。

第2段階 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見（1文）
1	フレーミング	3	「守る」対「改正」という語の選択に微細な価値的含意があるが、全体的な枠組みは両論併記形式を維持している
2	語彙と用語	2	「守る」という語に護憲派を肯定的に位置づける含意があるが、明確な操作的用語の使用は限定的
3	専門家の選定	4	改憲派（教授）対護憲派（作家）という専門性の非対称な選定が形式的均衡を演出している
4	省略	6	改憲手続き、議席配分、世論調査データという重要な文脈情報が完全に欠落している
5	司会者の行動	1	ニュース読み上げ形式のため司会者による介入は構造的に発生せず、非対称性は確認されない

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6	発言時間の配分	3	改憲派・護憲派の発言時間はほぼ均等だが、内容の具体性に明確な差がある
7	質問の非対称性	1	ニュース読み上げ形式のため質問は存在せず、非対称性は評価対象外
8	連座による信用失墜	0	連座による信用失墜の技法は確認されない
9	数値操作	2	参加者数の対比（850人対5万人）が文脈説明なしに並列報道されている
10	タイミング	2	標準的なニュース構成に従っており、意図的なタイミング操作は確認されない
11	映像選択	2	護憲派のデモ行進描写が改憲派より詳細である可能性があるが確証はない
12	情報源の選定	4	両集会の主催者情報が不完全であり、中立的専門家情報源が欠如している
13	選択的憤慨	1	ニュース読み上げ形式のため選択的憤慨は確認されない
14	偽りの均衡	4	形式的な両論併記が参加者数・専門性・論拠の具体性の実質的非対称性を隠蔽している
15	アジェンダ設定	3	憲法論議が「集会」と「二項対立」の枠組みで報道され、より複雑な実態がアジェンダから外れている

## 結果

- 総合スコア（15基準の平均）：2.5 / 10
- 完全性スコア：3.0 / 10
- 複合スコア：2.8 / 10（基準70%+完全性30%）

計算：

- 総合スコア： $(3+2+4+6+1+3+1+0+2+2+2+4+1+4+3) \div 15 = 38 \div 15 \approx 2.5$
- 複合スコア： $(2.5 \times 0.7) + (3.0 \times 0.3) = 1.75 + 0.90 = 2.65 \approx 2.7$

## 支配的な技法

本放送における最も強力な3つの技法：

- 省略（スコア6）：改憲手続きの要件、2024年衆院選後の議席配分、世論調査データという改憲論議の現実的文脈が完全に欠落しており、視聴者が独立した判断を形成するために必要な情報が提供されていない。これは放送法第4条が求める「多角的な論点の提示」に最も直接的に反する要素。
- 偽りの均衡（スコア4）：参加者数に約59倍の差がある両集会を同等に並列報道し、専門性の異なる代弁者（教授対作家）を同等の「専門家」として提示することで、形式的均衡が実質的非対称性を隠蔽している。
- 専門家の選定（スコア4）：改憲派の代弁者として学術的権威を持つ名誉教授が選ばれ、護憲派の代弁者として非専門家の作家が選ばれており、両立場の論拠の説得力に構造的な差が生じている。

## 放送の核心的メッセージ

メッセージ1（内容的）：「憲法改正論議は改憲派と護憲派の二項対立であり、両者は同等の社会的支持を持つ」

技法：偽りの均衡、フレーミング — 証拠：01:10～01:19、02:26～02:27

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

メッセージ2 (個人的) : 「改憲派は具体的な安全保障上の論拠を持ち、護憲派は抽象的な市民社会的価値を訴えている」

技法 : 専門家の選定、省略 — 証拠 : 01:36~01:53、02:46~02:53

メッセージ3 (社会的) : 「憲法記念日は改憲派・護憲派が集会を開く恒例行事であり、特別な政治的文脈はない」

技法 : アジェンダ設定、省略 — 証拠 : 全体 (2024年衆院選結果への言及なし)

## 操作度の分類

- 軽微な傾向 (3~4)

理由 : 本放送は4分49秒という短い夕方ニュースであり、形式的な両論併記は維持されている。最も問題のある要素は「省略」(スコア6)であり、改憲論議の現実的文脈(議席配分、手続き要件、世論調査)が欠落している点。ただし、これは短い放送時間の制約によるものとも解釈でき、意図的な操作と断定するには証拠が不十分。放送法第4条との関係では、形式的な政治的公平は概ね維持されているが、「多角的な論点の提示」という観点からは改善の余地がある。

## 結論

本放送は憲法記念日の改憲派・護憲派集会を形式的に均衡よく報道しており、明確な政治的偏向は確認されない。しかし、改憲論議の現実的文脈(2024年衆院選後の議席配分、改憲手続きの要件、世論調査データ)が完全に欠落しており、放送法第4条第2号が求める「政治的に公平であること」および第4号が求める「できる限り多くの角度から論点を明らかにすること」の観点から、情報の完全性に課題がある。専門家の選定において改憲派(名誉教授)と護憲派(作家)の専門性の非対称性が存在し、参加者数の大きな差(850人対5万人)が文脈説明なしに並列報道されている点も、実質的な均衡という観点から問題を含む。総合的には、意図的な操作というよりも、短い放送時間における情報の選択と省略の問題として評価されるが、視聴者の独立した判断形成に必要な文脈情報の提供という公共放送の責務の観点からは改善が求められる。

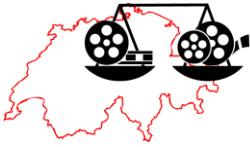
## 第3段階 — 政党政治的バイアス

### 政党別スコア

政党	スコア (-5~+5)	放送内の描写対党の綱領的立場
LDP (自民党)	0	直接言及なし。改憲派集会が報道されたが、LDPの立場として明示されていない。LDPの改憲推進という綱領的立場は間接的に反映されているが、正確でも歪曲でもない。
CDP (立憲民主党)	0	直接言及なし。護憲派集会が報道されたが、CDPの立場として明示されていない。CDPの護憲的立場は間接的に反映されているが、正確でも歪曲でもない。
公明党 (Komeito)	0	言及なし。
維新の会 (Ishin)	0	言及なし。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



共産党 (JCP)	0	言及なし。
国民民主党 (DPP)	0	言及なし。

スコア凡例：

+5 = 綱領の立場が正確かつ完全に描写されている

0 = 政党・テーマが放送に登場しない

-5 = 綱領の立場が積極的に歪曲または誤って描写されている

### 政党バイアスまとめ

- 最も正確な描写：該当なし（全政党がスコア0）
- 最も強い歪曲：該当なし（全政党がスコア0）
- 0からの平均偏差：0.0
- 結論：本放送では特定の政党名が明示的に言及されておらず、改憲派・護憲派の集会在政党と切り離して報道されている。これは政党政治的バイアスを回避する一方で、各政党の具体的な立場が視聴者に伝わらないという情報の欠如をもたらしている。放送法第4条の観点からは、政党の立場を明示することで視聴者の理解を深める機会が失われている。

### 左右スペクトル全体的傾向

傾向スコア：+0.3

（正值=左派寄り、負値=右派寄り、0.0=均衡）

分類：均衡（わずかに左派寄り）

理由：本放送は形式的に改憲派・護憲派双方を報道しており、明確な左右の偏向は確認されない。わずかに左派寄りと評価する根拠は以下の通り：①護憲派集会の参加者数（5万人）が改憲派（850人）より大幅に多く、この数値差が文脈説明なしに報道されることで護憲派の社会的支持の大きさが印象づけられる可能性がある；②護憲派のデモ行進という視覚的に印象的な場面が詳細に描写されている；③改憲派の代弁者（名誉教授）の具体的論拠（ホルムズ海峡）が示される一方、護憲派の代弁者（作家）の抽象的訴えが対置されることで、改憲派の論拠が「具体的だが問題あり」、護憲派の立場が「感情的だが正当」という印象を与える可能性がある。ただし、これらはいずれも微細な傾向であり、明確な左派バイアスとは言えない。

### 第4段階 — 法的評価（放送法第4条）

#### 放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平（第2号）、報道の正確性（第3号）、および多角的な論点の提示（第4号）を求めている。

違反1：

規範：放送法第4条第4号（「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung Association suisse pour une information équilibrée Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実：改憲論議において、改憲手続きの要件（衆参各院3分の2以上の賛成＋国民投票）、2024年衆院選後の議席配分（改憲発議に必要な3分の2議席の欠如）、世論調査データ、憲法学者の多様な見解が一切提示されていない。

証拠：タイムスタンプ01:10～03:22（憲法論議全体）— 改憲派・護憲派の集会発言のみが報道され、客観的文脈情報が欠落している。

評価：「できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という要件に対して、集会発言の引用のみでは不十分であり、視聴者が独立した判断を形成するために必要な情報が提供されていない。ただし、4分49秒という短い放送時間の制約を考慮すると、重大な違反とまでは言えない可能性がある。

違反2：

規範：放送法第4条第2号（「政治的に公平であること」）

事実：改憲派の代弁者として学術的権威を持つ名誉教授が選ばれ、護憲派の代弁者として非専門家の作家が選ばれており、両立場の論拠の説得力に構造的な差が生じている。

証拠：タイムスタンプ01:36～01:53（桃地教授）対02:46～02:53（吉岡氏）

評価：形式的な両論併記は維持されているが、代弁者の専門性の非対称性が実質的な政治的公平を損なう可能性がある。ただし、これは放送局の意図的な操作というよりも、集会登壇者の選定の問題である可能性もある。

違反なし（軽微な問題として留保）：

放送法第4条第3号（「報道は事実をまげないですること」）については、本放送において事実の歪曲は確認されない。参加者数の報道も「主催者発表」として（「被災者の発表」という誤記はあるが）報道されており、事実の歪曲とは言えない。

### 放送法第4条総合評価

本放送は放送法第4条の形式的要件を概ね満たしているが、第4号（多角的な論点の提示）の実質的充足という観点からは改善の余地がある。改憲論議という意見が対立している問題において、集会発言の引用のみでは「できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という要件を実質的に満たしているとは言い難い。特に、改憲手続きの要件、現在の議席配分、世論調査データという客観的情報の欠如は、視聴者の独立した判断形成を妨げる可能性がある。ただし、4分49秒という短い夕方ニュースの時間的制約を考慮すると、これらの欠如が放送法違反として法的に問題となるかどうかは、より詳細な検討が必要である。総合的には、明確な放送法違反とまでは言えないが、公共放送としての情報提供の質という観点からは改善が求められる。

### 情報源の深層確認（引用されたすべての専門機関・NGO・相談機関対象）

#### 民間憲法臨調

- 資金調達：民間の改憲推進団体。具体的な資金源は公開情報から確認困難だが、改憲推進の政治家・財界人との関係が知られている。
  - 委任の適合性：改憲推進を明示的な目的とする団体であり、中立的な憲法論議の場としての適合性はない。
  - 利益相反：改憲実現が団体の存在意義と直結しており、改憲推進の立場を維持することに強い制度的利益がある。
  - 信頼性マトリクス（6次元）：
    - D1 利益相反：-2（改憲推進が団体の目的）
    - D2 個人的リスク：0（団体としてのリスクは中程度）
    - D3 専門能力：+1（憲法論議の実践的経験あり）
    - D4 見解の一貫性：+1（一貫して改憲推進）
    - D5 感情化対データ：0（具体的論拠と感情的訴えの混在）
    - D6 情報源レベル：0（集会主催者として二次情報）
- 合計：0 → 情報源信号機：黄色

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

5. 反論情報源：日本弁護士連合会、護憲派憲法学者（長谷部恭男・早稲田大学教授等）の見解が対置されていない。

重要：「民間」という語は中立性を示唆するが、民間憲法臨調は明確な政治的立場を持つ団体であり、中立的な専門機関として扱うことは不適切。

本分析はバージョン2.7詳細版に基づき、放送法第4条準拠・法的証拠能力対応の形式で作成された。分析対象放送の推定日時：2025年5月3日（憲法記念日）午後6時。分析者：SVFAB分析パイプライン v2.7。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 15基準の総合評価

### 個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	4/10	軽微な偏り
2	情報源の選定	4/10	軽微な偏り
3	発言時間の配分	3/10	軽微な偏り
4	省略（選択的省略）	6/10	顕著な偏り
5	数値操作	2/10	問題なし
6	連座による信用失墜（連座制）	0/10	問題なし
7	タイミング	2/10	問題なし
8	選択的憤慨	1/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	3/10	軽微な偏り
11	語彙と用語	2/10	問題なし
12	司会者の行動	1/10	問題なし
13	質問の非対称性	1/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	4/10	軽微な偏り
15	アジェンダ設定	3/10	軽微な偏り

ハードファクトスコア (1-8)

**3.2/10**

軽微な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

**2.3/10**

問題なし

総合スコア

**2.8/10**

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 凡例 — スコアの定義

### 基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

### 集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

### 政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

### 法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
 주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

事實認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 付録1：国内放送法

### 法的根拠 日本 — NHK

#### 法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

#### 放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

#### バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

#### スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 監督機関

### 総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

### BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

### NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

### 国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

### 構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 付録2 : 科学的参考文献

### 参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

### SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | [www.svfab.ch](http://www.svfab.ch) | [kontakt@svfab.ch](mailto:kontakt@svfab.ch) | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

## SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

### 연락처 및 추가 정보:

[www.SVFAB.ch](http://www.SVFAB.ch) | [Kontakt@SVFAB.ch](mailto:Kontakt@SVFAB.ch)

**은행 계좌:** PostFinance – POFICHBE

**IBAN:** CH32 0900 0000 1675 6251 1

**수취인:** SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

**회장:** 다비드 Schlaepfer / Schlaepfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 [www.svfab.ch](http://www.svfab.ch) 또는 [kontakt@svfab.ch](mailto:kontakt@svfab.ch)를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

**회장:** 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

**스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.**

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1